

---

# 百年の軌跡、千年の軌跡

蝸 -ひぐらし-

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

百年の軌跡、千年の軌跡

### 【コード】

N7807I

### 【作者名】

蝸 - ひぐらし -

### 【あらすじ】

ひぐらし の詩みたいな感じにしてみました

**(前書き)**

わかりにくい表現などは、大目に見てくださいとありがたいです。

長かった……百年もの道のり（千年もの道のり）

いろんな道を辿ってきた（いろんな世界を巡ってきた）

大事な人がいなかった（大切な人がいなくならなかった）

世界の仕組みがわからなかった（ルールがあることさえ知らなかった）

ルールを破れなかった（ルールの破り方がわからなかった）

ある時、ルールを破れる人に出会った（心の中に希望が出てきた）

出口なき迷宮を壁ごとぶち壊せる（とても頼もしかった）

出会えない時もあった（必死で出会える様にした）

そして、ルールを破ることが出来た（でもルールはあと2つあった）

ある時、心の中が絶望に満ちた（何をしても突破出来たかった）

そして、時間が過ぎていった（言うなれば灰色の日々）

またある時、友達が言った（その言葉は重かった）

“みんなが信じれば怒らない奇跡はないんだよ”（つまり、1人でも欠けると起こらない）

別のある時、聞いてしまった（今まで、知る由もなかったこと）

自分が死んだらこの村が滅びること（自分は女王バチの様な存在だと）

自然災害と称し村人を絶滅させること（本当は一カ所ウラに集め、皆殺し）

それは防ぎたかった（大切な友達のために）

でも防げなかった（何をしても無駄だった、効かなかった）

そして再び訪れた…（…灰色の日々）

それはとても長かった（少なくともそう感じた）

そうしている内にあの人が言った（運命ルトルを破れる人が）

“運命なんか金魚すくいの網より薄いものだ”（自分の中の何かが動いた）

そして皆に協力を求めた（大切な友達に）

申し訳ない気持ちで一杯だった（でもそれを言うなと指摘された）

そして皆で挑んだ（避けられない惨劇に）

……  
……あと一歩だった（本当にもう少しのところであつた）  
……ダメだ

その後、友達が言った言葉（“あなたは奇跡を信じてた？”）

奇跡の起こし方を思い出した（1人欠けても起きないことを）

……奇跡が起きるはずもなかった（欠けてるひとがいたから）

ただ見ていただけの（「僕」がいたから）

だから、次は皆が信じた（奇跡を、「僕」も）

そして突破出来た（未来に行けた）

1人も欠けることなく（仲間も敵も）

「私」はその理由を悟った（そして「僕」らに教えてくれた）

トランプの『ジジ抜き』と同じだと（最初に抜けた1枚のカード）

その欠けた「1枚」が場に出れば（敗者はいない）

みんなが参加した、結束した、努力した（だからこそ打ち破れた）

そして「私」は……（「僕」は……）

昭和58年6月を越えられた……。

(後書き)

羽入：あうあう てなわけで、何か作ってみましたのです。

梨花：羽入？あんた、かつこ書きじゃなかったっけ？

羽：ここは後書きなのですよ 本文じゃないのです

梨：……まあ、いいわ。ところであなた、少し喋り過ぎじゃない？

羽：そんな意見は作者に言え！なのです

梨：はあ……もう、いいわ……

羽：最後まで読んでくれた方、本文にありがとうございます

梨：そうね。こんなの、読んでくれて有り難いわね。

羽：梨花？少し拗ねていますです。

梨：お仕置きが必要かしら？

羽：それでは、この辺で。感想、お待ちしております  
つて梨花〜！止めて下さいのです = 33

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7807i/>

---

百年の軌跡、千年の軌跡

2010年10月9日02時39分発行